

臨床研究に関する情報公開（一般向け）

杏林整形外科では附属病院を通じ、患者さんに適切な医療を提供すべく努力を行っております。その一環として、このたび患者さんの病気についての情報をもとに研究を実施しております。本研究は厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」を順守して行われます。

研究課題名：

本邦における脱分化型軟骨肉腫の治療成績 骨軟部肉腫治療研究会多施設共同研究

施設研究代表者 森井健司

杏林大学医学部整形外科学 准教授

1. 研究の意義

脱分化型軟骨肉腫は軟骨肉腫の 1.4～15%を占める稀な悪性腫瘍です。2014 年までに単一施設から 22～78 例の治療成績が報告され、2007 年にはヨーロッパの多施設共同研究で治療成績が報告されていますが、まだ、特徴や適切な治療法は十分に明らかにされていません。本邦はじめアジアにおけるまとまった報告はなく、多数例における脱分化型軟骨肉腫の臨床成績が明らかになれば、本邦におけるより適切な治療が可能になることが期待されます。

2. 研究の目的

本研究の目的は、本邦の骨・軟部腫瘍専門施設における骨原発性脱分化型軟骨肉腫の治療成績を通常型軟骨肉腫 Grade 3 と比較して後方視的に検討し、その成績向上のために改善すべき点を明らかにすることです。

3. 研究の対象

1990 年から 2014 年までに杏林大学整形外科を含む特定非営利活動法人骨軟部肉腫治療研究会（JMOG）参加施設において、組織診断で骨原発性脱分化型軟骨肉腫あるいは骨原発性通常型軟骨肉腫 Grade 3 と診断された患者さんを対象とします。

4. 研究の方法

研究事務局は匿名化された診療情報を集計し、全症例の腫瘍学的成績について後方視的に解析します。

5. 対象者個人情報の保護について

症例リストを作成し、各施設で症例リストの個人を特定できる ID と氏名をコード化します。コードと症例リストを連結する対応表は各施設において厳重に保管します。

6. 研究結果の公表

結果は、整形外科または腫瘍関連学会において発表し論文発表される予定です。公表については個人を特定できないような形でおこないます。個人の検査結果等に関する開示は行わない予定です。診療情報の利用について希望されない場合は、その方のデータを本研究から除外して研究を行います。

7. お問い合わせ先

杏林大学医学部整形外科学 准教授 森井健司

連絡先：杏林大学医学部整形外科学教室

〒181-8611

東京都三鷹市新川 6-20-2

TEL 0422-47-5511、